



# 学校だより

令和2年6月1日  
横浜市立豊田小学校  
6月号

開く つなげる とともに

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

## 長期化するコロナ禍に立ち向かう中で 今、思うこと

学 校 長

政府の専門家会議は、人との距離はできるだけ2m空ける、マスクの着用、3密（密閉・密集・密接）の回避、テレワークの励行など「新しい生活様式」を提示しました。コロナ禍との戦いが長期化する中で、私たちの生活が、ウイルスとの“共存”を想定した段階に移行しつつあるとの識者の声が聞かれます。

今までは、新型コロナウイルスの感染を防ぐため、とにかく外出を控え、人との交流を極力減らすことに対策がとられていましたが、これまでの手洗い、うがいなど細心の注意を払う「感染しない、感染させない」の視点は失わずに、どのようにして教育活動や経済活動を再開させ、心と体の健康を維持するのが大切になってきました。その際、「人と人とのつながり」「社会とのつながり」（\*ソーシャルキャピタル=社会関係資本）の重要性が指摘されています。



休業期間中、何人かの3年生の児童に、「今、思うこと」を聞いてみました。

「僕の心配なことは、学校がはじまらないことです。どうしてかという、友だちとあそべないからです。早く手をつなぎたいです。」

「みんなといっしょに、あそびたい、話をしたいです。」

「早く3年で、ならうわりざんや漢字をいっしょに勉強したいです。あと、家族みんなでいろんな場所に行きたいです。」

「みんなといっしょに、おいしいきゅうしょくを食べたいです。」

子どもたちは、友達や人との“つながり”や、“絆”を強く求めています。そして、改めて人間的な成長は、人との触れ合いの中で実現していくものだ実感します。

同時に、こうした子どもたちの声から、現在の危機的な事態の中で、一人ひとりがつながり合い、励まし合う“思いやりの心”の度合いが、今、問われているようにも思うのです。この“思いやりの心”を、地域社会全体で、豊かに育み発揮しながらこの困難な局面を“子どもたちとともに”乗り越えていきたいと思えます。

\*ソーシャルキャピタル (social capital) は地域社会における人々の信頼関係や結びつきを表す概念。他者への信頼、交流、社会参加などが豊かなほど、人々の協調行動が活発となり、治安、経済、健康、幸福感などへ良い影響があるとされています。

### セクシャルハラスメント窓口

横浜市では、学校における「わいせつ・セクシャルハラスメント」行為防止のため、相談窓口を設置することになっています。ご心配なことがありましたら、ご相談ください。

○相談窓口者

養護教諭 教務主任 児童支援専任

横浜市の相談窓口の電話番号 教育総合相談センター（一般教育相談窓口）

TEL 671-3726（月～金 9:00～17:00）